

会員からの便り(1981~82), Letters from Members.

多くの方々からお便りをいただきましたが、その中から調査や白鳥の動向、調査地の様子などに関係あるものを、その一部、若しくは要約したものを紹介します(文責、玉田 誠)

山内 昇 5月27日付

今年はクッチャロ湖の魚舟を白鳥の期間のみ規制したためクッチャロ湖には白鳥が多く、ポロ沼・猿骨にはあまり移動せず帰北しました。(猿骨・ポロ沼・クッチャロ湖)

門脇 益市 12月15日付

只今中海は昨シーズンの如く分散がはげしく例年通りの観測はできない現況にあります。略、私としては定時定点調査はその正確を期するために一応返上したく思います。略、当東出雲町白鳥を守る会と私は、例年の如く当白鳥海岸の状況を月報として送ります。参考にして下さい。

佐藤 公生 (松井会長への便りのコピー) 3月12日受

2月末になり八郎瀧干拓地では今年もガン・ハクチョウの大群が羽根を休めており、伊豆沼からのハクガン・シジウカラガンも立寄っています。27日には私もハクガンを見ることもできました。ハクチョウは飛来したばかりでしたが緑2 C94のオオハクチョウもいました。

三宅 博 4月5日付

略、同封しましたのは琵琶湖における今シーズンの現況でして、これは地元の堀野善博氏(野鳥の会会員)が記録されたもののコピーでございます。お役に立てば幸いです。略、小生は新聞記事により白鳥のことを知り、さっそく確認のため行って参りました。記事にはオオハクかコハクか不明の様に書かれていますが、コハクチョウであることを確認いたしました。

島山 正光 1月12日付

略、私は11月の指定日には入院中でありましたので御報告申し上げられませんでした。略、なかなか昨年並の数にならないで心配しております。昨年の今日は528羽でしたが今年は、497羽であります(1月12日)。昨日は430羽でありました。略、昨日迄に弊死白鳥は2羽だけです。(小湊)

阿部 誠典 12月3日付

釧路湿原の塘池・釧路川支流に入っているのが数多くいる模様、上記の調査は正確なものになり得ていないかも知れません。調査者の拡大等今後の課題と思います(塘池・シラルトロ湖)

金沢 裕司 2月14日付

有珠のデータが前月の速報に見当らなかったように思われたので報告します。略、なお2月12日午前11時40分ごろ20羽の成・幼混じった群が長万部の上空のかなりの高さをNNWに向かって通過するのを見ました。(有珠海岸)

佐藤 哲 3月22日、4月2日、5月11日受

3月に入り14日は快晴無風で早朝から夕方まで北帰するハクチョウが1日見られました。(この日だけで500羽は北帰したでしょう)今の迫川は南から来るのと北に行くハクチョウで毎日賑わっています。3月21日大雨が降ったために川水が増水、付近の水田などに分散、数がへる(迫川)。これで今シーズンは終りにします。又秋になったら送りたいと思います。(迫川)

小野 登志和 4月5日受

今までにコハクの記録は珍らしく、一昨年4月生花苗1羽、昨年9月湧洞沼で1羽が最近のもので、それ以前でも1~2度だと思います。今シーズン道東でコハクの記録があるでしょうか、是非お教え下さい。この場所での記録には驚きました。(十勝地方一円)

木下 茂 1月1日受

今年、来年2年間苫小牧全区休猟区のため白鳥も分散しています。(ウトナイ湖)

田畑 宏昭 12月7日受

大沼・小沼のワカサギ漁が行なわれているためか、まだ定着する白鳥は見受けられない。(小沼)

上竹 二郎 12月16日受、4月5日受

現在約400以上居りますが種別成幼別正確な数は報告申し上げ出来ぬ。此の内オオハクは約50%位、其の他はコハク・幼成は御係殿が多年に渡る体験で御想像下さい。略、例年2月10日頃が最高になっていたが、今年は猪苗代が大森様が給餌休みとなり別人の給餌で餌不足か猪苗代は3月早々に数が少なくなって居たと報告を受けた。その分早く移動し阿武隈川が多くなった様にも思われた。(阿武隈川)

本田 清 1月6日受

佐潟南東8キロメートル以内の水田地帯には11月以来、青刈りの後の二番穂をあさる700~1000羽のコハクがおり、この中に015Y、037C、052Cが見えるが夜間は佐潟に帰るものが多い。この地帯は鳥屋野潟とのちょうど中間地点にあり、定時点調査様式になじまない(玉田注一同氏の報告によれば、こうした傾向は福島潟、瓢湖、鳥屋野潟でもみられる)。

川島 正一 4月12日受

略、こちらは沼の柳も芽をふき桜が満開です。そちらはいかがでしょうか。きっと湖には白鳥がいっぱい集っているのではないかと、うらやましく思っています。それにしても白鳥を見ていると人間の根源を見ているようで不思議な気持ちになる時があります。色々知りたいことばかりですがなかなか思うようにはいきません。(多々良沼)

山本 良征 2月22日受

米子野鳥保護の会に対しての依頼文ありがとうございました。私としては非常にやり易くなりました。情報57・1・15 宍道湖49羽(コハク)(中海)

千葉房江

ただ可愛いというだけで餌を与えたり眺めたりしていましたが、白鳥のことを調査する会があるなどとは考えおよびませんでした。これからは毎日かぞえてお知らせします。(弟子屈町鑑別川)

菊池昶史 4月25日付

古徳へ2シーズン飛来したコブハクチョウが水戸の大塚地に到着きました。左足に足環をつけていることが昨シーズンからわかっていましたが、読むことができず気になっていました。ようやく大塚池で上陸、その結果、ハンブルクとゴシックで刻印されていることがわかりました。これから身元調べをするつもりです。略、(大塚池、久慈川)

菊池昶史 3月24日付

略、大塚グループは日中は大塚、夜は古徳で過すようになります。久慈川グループは時々古徳に行きます。略、くちばし模様、家族構成などからこの動きは確実につかむことができました。個性があって面白いです。略、後藤静江(古徳沼)さんは現在入院中です。腎臓の手術をしました。経過は良好、もう数日で退院できるでしょう。北帰行をぜひとも見送らねばと退院を心待ちにしております。(前出)

中塩一夫 3月9日付

略、カウントは皆瀬川で白鳥類に給餌をなさっている泉川清太郎氏(秋田県平鹿郡十文字町植田志摩TEL01824-(4)5129)にやっていただきました。そして補足のために私自身、当地を訪れた際のカウント結果も付け加えておきました。略、因みに宮城県の迫川(伊豆沼)と秋田県皆瀬川は栗駒山を通り直線距離で約80kmです。従って白鳥にすれば1時間程度の飛行で移動が可能な距離です。また泉川氏によると最近、胸部から腹部の羽毛が赤く染まった白鳥が立ち寄るとのことです(私自身3月8日に10羽のオオハク確認)。伊豆沼の白鳥は羽毛が赤く汚れているものが多いので皆瀬川に立ち寄るアカ鳥が伊豆沼から移動してくるのかも知れません。伊豆沼のマガンの大部分が栗駒山越えの八郎瀉移動の北帰ルートが知られていることから、白鳥類も奥羽山脈越えルートが考えられます。(宮城県一円)